かわら版 いわしろ

～集落支援員だより

「手芸好きが集まり、ボランティアとして活動。地域の人に喜んで頂けることが何より喜びです」

岩代地域で二十五年前から活動を続けている手芸ボランティア「お針箱」。メンバーの皆さんに会を立ち上げたきっかけや活動内容、今後の抱負等についてお話を伺いました。

▲「お針箱」のメンバー。毎週火曜日の午前中に岩代福祉センターで小物等を制作。「手芸に興味のある方は、ぜひ見学にいらしてください」と代表の大内みや子さん＆メンバーの皆さん。

◆立ち上げの経緯について

平成十一年、岩代町時代のボランティアセンター開設に伴い、手芸好きが集まり、色々な作品を作り始めたのがきっかけで、翌年の四月に「お針箱」として十名のメンバーで結成しました。

四十代から七十代の手芸好きな女性たちの集まりで、「大好きな針仕事を通して地元の役に立てることが嬉しい。私たちの作品がたくさんの人を笑顔にすることができれば」という思いで活動してきたそうです。

そんな中、平成二十一年に地元で活発な福祉活動をしている団体に与えられる「福島民友愛の事業団奨励賞」を受賞。「好きで継続してきた活動ですが、このような形で認められたことで励まされました」とメンバーの皆さん。

▲メンバーの皆さんが一針一針、心を込めて手作り。

◆現在の活動や抱負について

現在のメンバーは七名。当時、五十代だったメンバーも今は七十代になりましたが、週に一度、集まって地元のために縫物を続けています。「東日本大震災やコロナ禍の時期を経て、そのときそのとき私たちにできることを模索し、求められることに応えてきました」

今年度は、岩代福祉会から「ふれあい弁当」にメッセージと一緒に添えるものを依頼され、チューリップを制作中です。

「メンバーの高齢化に伴い、以前のような勢いはなくなりましたが、今後も可能な限り活動を継続していきたいです」と代表の大内みや子さん。「週一度、みんなと顔を合わせるのが楽しみ。デイサービスと一緒！」と笑う皆さんの笑顔は輝いていました。

～～～～～

最後にお針箱の皆さんの気持ちを代弁する元メンバーの故金田和枝さんの詩を紹介します。

▲手作りのチューリップをお弁当に添えてプレゼント。

お針箱

その昔　誰が考えたか　針と糸
今、私たちも同じ針と糸で布を縫う
いろいろな思いを込めて

祖母の縫ってくれたあかい晴れ着
母の縫ってくれたお弁当袋
わが子に縫ってあげたぬいぐるみ
布がなくて、端切れをつないで作ったあの頃
寒さを防ぎ、長持ちさせるために縫った
刺し子
みんな針と糸で縫ったのだ。

細かい針目の一針一針
様々な思いが込められる
愛する人への優しい思い
時には耐えられぬ悲しみを縫い込めて
立ち上がる力になった一針

針と糸とで布をつなぐ
その針と糸はお互いの心もつなぐ
一針一針　優しく優しく　心をつなごう

そんな大切な　針と糸
「ありがとう」って大切に収めよう
お針箱　お針箱

「お針箱」の活動の軌跡を紹介

「お針箱」が会を立ち上げてから現在までの主な活動を紹介します。

「一人暮らしの高齢者の芋煮会」の参加者に「福ろう」のキーホルダー等を贈呈（コロナ前まで継続）
★岳温泉のパン屋、温泉宿から小物の販売注文が入り、売り上げの一部を寄付
★産業祭等で小物販売＆一部売り上げを地区社協に寄付
★万人子守地蔵尊例大祭で手作りのお守りや着物を境内で販売＆一部売上を地区社協に寄付
★古布創作展（小浜の古民家や安達ヶ原ふるさと村等にて）
★震災後、浪江町の仮設住宅を訪れ、手芸を教えるボランティア活動（吊るし雛、その他）
★コロナ禍に小浜小学校からの依頼によるマスク制作（小浜の保育所や幼稚園にも寄付）
★小浜小学校への家庭科授業のお手伝い（ミシンの使い方やエプロン制作）
★デイサービス用にお手玉を制作＆地区社協にプレゼント
★岩代福祉センターに「吊るし雛」を展示
★岩代地域の公民館へ出前講座（手芸教室）　　etc.…

▲現在もお地蔵様の着物を制作。特定非営利活動法人和（なごみ）で販売。

▲コロナ前は毎年、古布の創作展「和のこころ」を開催し、作品を展示していました。

※市WEBではカラー刷「かわら版」を掲載中。《二本松市岩代集落支援員だより》と検索又は上の題字下QRコードにアクセス下さい。

標高1,057m 日山(天王山)山開き のお知らせ

阿武隈高原中部県立自然公園に位置する「日山」の山開きが今年も６月に開催されます。詳細は下記の通りです。楽しいイベントも行われますので、お誘い合わせの上、ぜひ参加してください。

◆日時：6月１日（日）
◆10時～日山やまびこコンテスト受付
　11時～安全祈願祭
　　祈願祭終了後、日山やまびこコンテストを開催します。
※先着400名様まで記念品を差し上げます（10時頃～）。
※問合せ：岩代支所地域振興課
　☎0243-65-2803

▲お友達を誘って日山登山に参加してください。

しあわせの風ふくしま／ふくしまDC（デスティネーションキャンペーン）
「肉フェス in HIYAMA」が開催されました

去る五月十七日、日山キャンプ場で「肉フェス in HIYAMA」が開催されました。この催しは、「ふくしまデスティネーションキャンペーン」の一環として岩代観光協会が主催したもの。当日は朝からの雨降りにも関わらず、県内外から五十人近くの参加者たちが集いました。

二本松駅発着の送迎バスも運行され、バーベキューハウスで、岩代特産の短黒牛のステーキやカルビ、野菜等を心ゆくまで味わいました。

▲岩代名物、短黒牛の美味しさを堪能。

▲短角牛と黒毛和牛を掛け合わせた短黒牛は、「口の中でとろけるよう！」「最高に美味しい」と参加者に大好評！皆さん、大満足の一日でした。

～岩代の魅力シーン募集中！～
あなたのお気に入りの風景や映えスポットを教えて下さい♡

岩代観光協会では**インスタグラム「いわしろP」**を開設し、岩代の魅力を写真や動画で発信しています。「この時期のこの場所を写真に撮ってほしい」「〇〇〇の行事を紹介したい」等、おすすめの場所やシーン、その他ご要望がありましたら下記までご連絡ください。

＜連絡先＞岩代観光協会事務局（岩代支所内）
☎0243-65-2803

～日山（天王山）山開きイベントのご案内～
♪海まで届け！日山やまびこコンテスト♫

今年も山開きでは『海まで届け！日山やまびこコンテスト』が開催されます。受付は午前十時～、安全祈願祭終了後に実施します。日山山頂展望台から日頃の思いや叶えたい夢、伝えたいことを熱く叫んでください。

◆審査基準
①声の大きさ
②叫んだ内容の創意工夫や感動度
③表現力や伝わりやすさ

◆受賞者の発表
一等～三等、審査員特別賞を発表し、受賞者には関係市町村の豪華景品を贈呈します。

※登山者は自然環境を大切にし、ゴミを持ち帰るなどマナーを守り、安全確保のため、スタッフの指示に従ってください。

岩代の歴史シリーズ

台松塚舘　その②

台松塚舘保存会
副会長　赤沼英一

探し当てた史跡を地元では台松塚舘（杉沢舘）と呼んでいる。

杉沢字二元木にあり、「杉沢の大杉」から北西に約八〇〇mの道のり。

永禄年間（一五五八～一五七〇年、桶狭間の戦いや川中島の戦いなど戦国時代真っただ中の時代）の小浜城主大内備前守（義綱）の支城ともいわれ、また、大内備前守が田村地方への斥候館として佐藤倉人に守らせた城ともいう。（新殿「由来記」）

天正十二（一五八四）年六月、大内備前（定綱）と田村清顕が東安達の覇権を掛け、十石畑（台松塚舘の西南一、五km）で合戦。田村友顕（清顕の弟）が討死するなど、田村勢は一五〇の首を大内勢にとられた。（元和八年老人物語）。また、田村氏は、同年に度々出兵をして大内勢と戦い、その都度退却、その年の八月に五度目の合戦が千石森で行われ、またも田村勢の敗北となった（仙道表鑑）ともいう。

大内方の勝因は、勝ノ木舘の本田因幡守、菅野沢舘（台松塚舘と思われる）の佐藤倉人の大内方への加勢からであった（塩松郷史）と伝える。

おそらく、本田氏も佐藤氏も、田村氏の被官であったが、大内方へ寝返ったものと見られる。というのは、天正十年のころから、百目木から新殿辺りは田村清顕の勢力下に入っていたとみられ、田村氏の知行宛行状などが在地領主層に発給されていたのである。